



いきもの図鑑まとめ（2024 年 2 月～4 月） Vol.1

哺乳類、鳥類、爬虫類、昆虫類、クモ類、植物、キノコ類の報告がありました。
（外…外来生物、特外…特定外来生物）

【哺乳類】 2 種

ニホンジネズミ、ヌートリア（外）

【鳥類】 8 種

コウノトリ、トビ、カルガモ、コガモ、オオバン、カワラヒワ、キジ、イソヒヨドリ

【爬虫類】 1 種

ニホントカゲ

【昆虫類】 5 種

アオバセセリ（20230811）、キクキンウワバ、シミ sp.、ジャコウアゲハ（蛹）、ウスタビガの繭と卵

【クモ類】 1 種

ギンメッキゴミグモ

【植物類】 3 種

フユイチゴ、シロミナンテン（人工品種？）、シロバナタンポポ

【キノコ類】 3 種

カバイロツルタケ、アセタケ、オニフスベ（20230919）

<コメント>

今回は第 1 回目の報告となります。2 月上旬からスタートしましたので、まだまだ生物の投稿は少ないだろうなあと考えていましたが、たくさんの投稿をいただきました。ありがとうございました。（投稿数合計 26、種数合計 23 種）

今回目立ったのは、鳥類です。寒い時期でも活動ができるため、多くの方の目に触れたようです。コウノトリも兵庫県立コウノトリの郷公園によると 2024 年 3 月 31 日現在で野外個体が 364 羽となっています。最初の放鳥が平成 17 年です。から 19 年かけてここまで増えたのは素晴らしいことですね。朝来市でも東河地区や与布土地区で繁殖活動が報告されています。今後も温かい目で見守りたい



ですね。

ほかに、多かったのはヌートリアです。南米原産のネズミの一種です。2005 年 6 月に「特定外来生物による生態系に係る被害の防止に関する法律 (外来生物法)」によって特定外来生物に指定されています。第 2 次世界大戦前後に毛皮を取る目的で多く輸入されたということですが、その後逃げたり、放されたりしたものが増えて、農作物に被害を与えるようになってしまいました。朝来市内でも和田山地域や山東地域で 30 年以上前から見られるようになったということです。

今回は、冬から春にかけてでしたので、シロバナタンポポなど、春を感じさせてくれる生き物も含まれていました。

次回は、春から夏のレポートになります。さらに多くの生き物がみなさんのまわりで見られるようになることと思います。朝来市内にはどんな生き物が住んでいるのか、まだまだ分からないことがたくさんあります。

多くの方からのご報告をお待ちしております。

【生物写真の紹介】



コウノトリ (和田) 投稿: HIDE さん



ヌートリア (末歳) 投稿: HIDE さん



オオバン (糸井) 投稿: HIDE さん



コガモ (市御堂) 投稿: HIDE さん



トビ（和田山） 投稿：HIDE さん



カルガモ（土田） 投稿：HIDE さん



シミ sp.（金浦） 投稿：波多野哲哉さん



ジャコウアゲハ蛹（田中）

投稿：能口奨さん



キクキンウワバ（殿） 投稿：梶原泰輔さん



シロバナタンポポ（枚田） 投稿：石田千名美さん



フユイチゴ（西谷） 投稿：波多野哲哉さん



カバイロツルタケ（土田） 投稿：HIDE さん